

● 主な活動の記録

4月12日(土) 定例活動-矢田山遊びの森

穏やかな春の一日、新入3名を含む30余名が参加。

午前中は「野鳥の森」の平成18・19年植栽地における下草刈りと、炭窯周辺整備の二手に分かれての作業。作業の合間には春の野の恵みであるツクシ・ワラビ・イタドリ等が採れた。昼は「桜の森」で満開の桜を愛でながらの弁当。この間、新たに加わったセブンイレブンからの助成事業である地域清掃活動についての趣旨・内容の説明があり、環境保全のPRをも兼ねて矢田山遊びの森一帯の清掃活動に取り組むこととり、昼食後手分けして活動を開始する。その前にテングス病にやられている桜の枝を処理。一方では、午前に続いての窯周辺と倉庫の整備、又次回定例活動日の火入れに備え、炭材づくり・窯入れを行った。

野鳥の森下草刈り



お花見



テングス病の枝処理



清掃活動



炭材づくり



窯入れ



「緑の月間」街頭募金

4月24日(木) 近鉄奈良駅前、4月29日(火) イオンモールアルル橿原店前で(財)奈良県緑化推進協会による街頭募金活動に当クラブよりそれぞれ十数名が参加。24日はあいにくの雨ながら、例年通り県からは副知事、市からは奈良市長の応援があり、これにミス奈良が花を添え、加えていつもながら可愛い声での呼びかけが威力を発揮する幼稚園児の参加もあり、まずまずの成果。29日は、4年前の開店時に周辺に植栽された木々の育樹祭として、参加された千数百名の手による主として草取りの作業終了後、参加者にブルーベリーの苗木と各種の花の種を配り募金の協力を呼びかけた。これに続いて、買い物客にも同様の活動を行い、用意された500本の苗木は全て配布完了。限られたおこづかいの一部を割愛してくれた子供達、又業務中にもか

かわらずわざわざ車を停めて募金を入れて下さったタクシーの運転手さん他、ご協力いただいた全ての方々に感謝。

育樹作業



苗木の配布



募金活動



4月27日（日） クラフト指導 ファミリー公園自由広場

日本ボーイスカウト奈良県連盟創立80周年記念大会が県下のボーイ・ガール・カブ・ビーバーの各スカウト達とその関係者、家族数千名が参加して開催され、これに協力されている（財）奈良県緑化推進協会からの要請を受け、木工クラフト（マルタくん、モックくん、エンピツくん）作りに当クラブ員8名が指導にあたった。非常に盛況で一時は順番待ちが出来るほどで、一名につき一作品に限定して、さばくほどであった。

日頃から自然と親しんで活動している子供達だけに、次々とユニークな作品を創り出していくのには感心させられた。持ち込んだ材料を大会終了前には使い切ってしまった。

開 会 式



見本をシッカリ見て



サア製作開始！



5月17日（土） 高取山共生の森（ENEOSの森）整備・保全作業

——「緑の募金」中央事業——

新日本石油（株）の新入社員研修を兼ねて行われたこの日の作業は、「鉄は熱いうちに鍛えよ」とばかりに盛りだくさんの内容。

まず事業の意義・内容、作業上の留意事項の説明の後、平成17年同森の開所時の植栽地での下草刈り。スッキリとしたところで、今後も継続して活動に参加への動機付けともなるように、イロハモミジ・クリの記念植樹。名前を書き込んだ樹名板を掛け、思い思いのメッセージを書き込んだ標柱を立て、記念撮影で午前中の作業を終了。

午後からは5班に分かれて自然林での除伐・枝払い・もやかき・枯損木の処理等の林内整備、遊歩道の整備作業を行う間、希望者が指導者の指示の下、チェンソー体験を行った。

通りがかったハイカーからは、一部ながら整備された、歩き易くなった古道整備に対し感謝の言葉を掛けられ作業の一層の励みとなった。

次回活動は8月2日（土）を予定しており、夏休みでもあり社員の子どもを含む家族の参加もあることゆえ、趣をかえたプログラムを検討中。



下草刈り



記念植樹



決意を標柱に



林内整備



チェーンソー体験



ツルの除去



5月24日(土)～25日(日) 森林ボランティアリーダー養成と交流の集い

——「緑と水の森林基金」公募事業——

奈良県森林ボランティア連絡協議会の主催で東吉野村「ふるさと村」を中心に開催された研修会、当クラブよりは20数名が参加。

生憎天候に恵まれず、プログラムの大幅な変更を余儀なくされたが、地元役場・森林組合の方々から、同村の現状並びに林業の変遷、また吉野林業全般にわたる歴史と課題等種々興味深い講義を頂いた後、活発な質疑応答が行われた。

加えて、高見峠近くの森林作業研修予定地や、よく手入れされた人工美林他、丹生川上神社を初め村内に点在する史跡、遺跡、文化財等を巡り有意義な時間を過ごした。

ふるさと会館(宿舎)

講 義 風 景



5月28日(水) 「奈良坂集いの森」

——先駆的先導的森づくりボランティア活動支援事業——

荒廃した里山を、明るく親しまれる里山に再生し、子供達が森林体験を通じて自然の大切さ、命の大切さを理解することを目的とした事業。

活動の場となる奈良坂町の里山で整備作業を行った。激しく繁茂する竹の皆伐、枯損木の処理、草刈りと、暑い中での汗を流しながらの作業であったが順調に進んだ。

伐り開かれた後に流れ込む一時の爽やかな風で疲れを癒し、作業終了後は竹の子掘りを楽しんだ。本事業10月には市民・子ども達を募っての森林作業体験、植林等を予定している。

伐り開かれる竹林



積上げられる伐倒竹



枯損木の処理



6月8日（日） 「むし祭り」 一檀原市昆虫館一

同館が毎年開催されている「むし祭り」に、各種団体の展示・実演コーナーと並び、今年も森林環境教育推進事業の一環として「森の学校」を出展された中部農林振興事務所が森林環境パネル展示と合わせ雑木材クラフトコーナーをもたれ、その指導者の派遣を当クラブに要請があり、6名の指導員が参加。

主として、木の実を使った虫づくりと、竹でのジージーゼみづくりを指導した。このコーナーを訪れる子どもはひきもきらず、材料をすぐ手に取るも、同事務所が用意されたクイズを解かねば、クラフト指導を受けることが出来ないのです、まず展示パネルを見ながらクイズに挑戦。全問正解後、参加証をもらって次々と工作台に集まり、製作に熱心に取組んだ。終了時間を待たずに用意した材料が底をつき、開店休業状態となった。

準備中



コーナー風景



製作中



6月28日（土） 定例活動一矢田山遊びの森

型・色ともにばらばらながら長年愛用してきたヘルメットではあるが、いずれも耐用年数を大幅に超え劣化が進んでおり、万一の時に役に立たねばそれこそ大事ゆえ、思い切って全て新調。色もクラブカラーであるグリーンに統一、”GVNC”のロゴを付した。

全員がこれを着用し気分も新たに、午前は「野鳥の森」の下草刈り、午後からは芝生広場を中心に自然観察をかねた公園清掃、炭窯周辺の整理、倒木の処理、ホダ木の伏せ込み等それぞれ手分けしての作業を行った。

揃いの新ヘルメットでの朝礼



下草刈り



ホダ木の伏せ込み

